
【上海レポート20220411】

大阪産業局上海代表処/大阪府上海事務所 所長 南浦秀史

【上海市における封鎖状況4】

西側地区の封鎖が始まって11日目になりました。9日の朝、抗原検査がありましたが、急遽全市一斉のPCR検査の通知があり、夜に、検査を受けました。今後、今回の検査にもとづいて3つのレベルに分けた封鎖管理をする方針が示されましたが、11日朝の段階で自分の小区がどういう措置になるかの連絡はなく、以前のままです。

日本では封鎖下にある上海の食料不足が報道されているようですが、私の住んでいるところでは2度目の配給が9日にありました。キャベツ1玉、人参5本、トマト2個、にんにく2個、生姜1個といった内容です。冷蔵庫の生野菜が尽きたので、助かっています。また、昨晚、3度目の配給があり、牛乳1リットル、肉の缶詰340グラム、乾燥麺400グラムが各戸に配布されました。

食料は政府からの配給(無料)と団地で実施されている共同購買で入手する方法があります。しかし、共同購買は携帯電話アプリを使った自主的なものですから、老人や中国語をよく理解できていない日本人は参加できていません。私の小区では、年老いた両親が住人の娘さんが、本人は団地の住人ではありませんが、この共同購買グループに参加して両親のために注文をしています。また、ある時グループの管理人から、ある日本人住民が共同購買に参加できず、食料がなくなっているという情報が入ったという投稿がありました。即座に数名の中国人住民から日本語ができると手が上がり、その日本人の住まい(○棟○号室)が確認され、手が上がった人から、それなら、同じ棟に友人がいるからその友人に連絡をするということで、解決したようです。

中国には、朝の中央テレビ台による全国ニュース「朝聞天下」という番組があります。NHKニュース「おはよう日本」のような感じです。全国のニュースが簡潔に報道されますが、やはり、ここ最近では上海の都市封鎖の状況についての報道が続いています。特に、周辺の省や直轄市から、飛行機やバスなどで医療チームが入ってくるニュースは、現地を出発するところが映像で流れたりもしますが、小さなキャリーケース一つで、当面の食料などをカバンに詰め込んで乗り込んでいるところを見ると、日本と同じように、医療従事者の皆さんには本当に頭が下がる思いがします。

過去の「上海レポート」、「中国(上海)ビジネスサポート」

https://www.obda.or.jp/jigyosho/ibo/overseas_shanghai.html

発行・問合せ：(公財)大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)

URL: <http://osaka-sh.com.cn/> E-mail: osaka@ibo-sh.com